

## キーワード

### トレーサビリティ&エビデンス ～日車協連 車体整備記録簿電子化 来年以降の実用を目指す～

ASVやEV/HVなど日々進化を遂げる自動車。車体整備業界もこの進化に対して新しい対応をせまられるようになり、毎日のようにエーミングや特定整備といった話題が交わされています。そのような会話の中に頻りに登場するワードとして「エビデンス」と「トレーサビリティ」いうものがあります。

**エビデンス：証拠・根拠** 業種によってその意味合いはこととなりますが、自動車アフターマーケットでは整備記録簿に代表される、作業記録を確認できる書類またはデータといえます。他にもエビデンスの例として、スキャンツールを使用した故障診断書、エーミング作業状況及びエーミング作業完了報告書、車体整備記録簿などが挙げられます。

特に入・出庫時にスキャンツールで確認したDTC（故障コード）の有無を確認し、故障コードと故障項目名称を列記し、DTCコードの消し忘れ、過去に発生したDTCはステータス（状態）として表示することは、車両を預かり整備する上で非常に重要といえます。

**トレーサビリティ：追跡可能性** 一般的に物品の流通経路を生産段階から最終消費段階又は廃棄段階まで追跡が可能な状態。と定義されますが、自動車アフターマーケットでは整備履歴、車体整備履歴（事故履歴）、走行距離の管理（メーター巻戻し対策）や所有者変更、自動車登録、リコール、交換部品、検査、盗難、輸出入情報などの記録追跡と多岐に渡ります。特にわたしたちの業界では、万が一サポカーなどのADAS（先進安全技術）搭載車両が事故を起こした際に、過去の車体整備時にエーミング作業などをしなかった場合、またはエーミング作業をしても記録を残していないために証明が出来ない場合に、整備作業が責任を問われるケースが想定されるなど、上記の「エビデンス」をいかに残すか、つまりトレーサビリティの確保をいかに行うかが大変重要となってきています。

そのような折、**日本自動車車体整備協同組合連合会（日車協連）では従来紙面上で管理していた車体整備記録簿の電子化を図っていくと報道されました**（日刊自動車新聞9月24日号）概要は、各会員企業が使用する钣金見積もりソフトに記録簿入力ソフトを組み込むことにより、見積もり入力内容が記録簿に同じ内容として入力されるという仕組み。従業員の作業負担軽減や上記のトレーサビリティ確保を目的とし、来年以降の実用化を目指しています。

## 廃止原色案内

### 0591 パールベースBL 販売終了のご案内

この度、アクロベース・ミラノ2Kに設定されています原色「0591パールベースBL」を販売終了とさせて頂くことになりました。該当原色使用の塗色としてはトヨタ6K4のみですが、既に配合変更を行っております。カラー工場の訂正シール等の対応は現在予定しておりません。ご了承いただきますようお願いいたします。

## トピックス

### 第46回 東京モーターショー2019 開催！



10月24日(木)から11月4日(月・祝)まで東京ビッグサイト青海・西/南展示棟にて「第46回 東京モーターショー2019」が日本自動車工業会主催にて開催されます。今回の開催テーマは「OPEN FUTURE 未来へのオープン」です。

「クルマ・バイク本来の楽しさ」と「未来のモビリティ社会」を感じる東京ならではの新たなモーターショーとなるようです。また会場も従来の有明エリアに加え、青海エリアも含まれる大規模なものとなります。

尚、部品・機械器具部門にイサム塗料も出展予定ですので、視察される方は是非お足をお運びください！（南展示棟）

開催時間ですが平日は夜20時まで開催されているので、夕方から入場できるアフター4（¥1,000）入場券の設定もあるようです。一日券の当日売りは¥2,000です。詳しくは公式ホームページにてご確認ください。（日曜・祝日は10～18時まで）

尚、一般公開は10月25日（金）14時以降となりますので、ご注意ください。